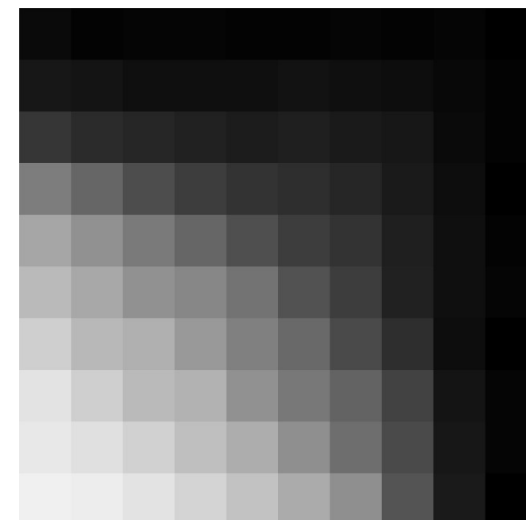


3836 東証プライム市場

# 株式会社アバントグループ

2023年6月期  
通期決算説明資料

2023年8月4日



# エグゼクティブサマリ

## ■ 2023年6月期の決算概要

- 2023年6月期通期においては、すべてのセグメントで増収となり、連結売上高は対前年比で14.5%の増収となる214億円。再編コスト、成長のための人員増、旺盛な需要増に対応した外注費増等の要因により、営業利益は対前年比+1.3%の増益となった
- 業績予想に対しては、売上高は▲1.7%達成となったものの、営業利益は+6.1%、純利益は+3.2%と利益目標は達成
- 第4四半期単体の売上については、DX事業とアウトソーシング事業は対前年同期比20%超の高成長率となったものの、グループガバナンス事業が減収となり、全体として対前年同期比6.5%の増収となった。営業利益においてはグループガバナンス事業の減益もあり、第4四半期においては全体でも減益となった

## ■ 業績予想 および 配当予想

- 2024年6月期については、売上高240億円（対前年比12.0%増）、営業利益38.5億円（同17.0%増）、当期純利益25.0億円(同19.4%増)を見込んでいる
- 純資産配当率については、全上場企業の平均を常に上回ることを意識しながら引き上げていくなかで、2024年6月期は純資産配当率8%の達成を志向して、1株当たり配当は19円に増配の予想

## ■ マテリアリティ実現に向けたアクション

- 新たな中期経営計画「BE GLOBAL2028」を発表し、戦略マテリアリティである「企業価値の向上に役立つソフトウェア会社になる」の実現を加速させる

# INDEX

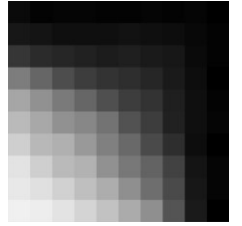
I. 2023年6月期 決算概要

II. 業績予想 および 配当予想

III. マテリアリティ実現に向けたアクション

\* 資料内の数値は表示単位未満を切捨てて表示しております。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。



# I. 2023年6月期 決算概要

# 決算概要

- 売上高は、第4四半期においてはグループガバナンス事業が減収となったが、通期では全セグメントで増収達成、第4四半期では6.5%増、通期では14.5%増に
- 成長のための人員増および再編コストによる売上総利益率低下があり、第4四半期単体で売上総利益および営業利益は減益。通期では増加率は小幅にとどまるが、増益を達成
- 売上高は若干下回るものの、営業利益および純利益は業績予想を上回る

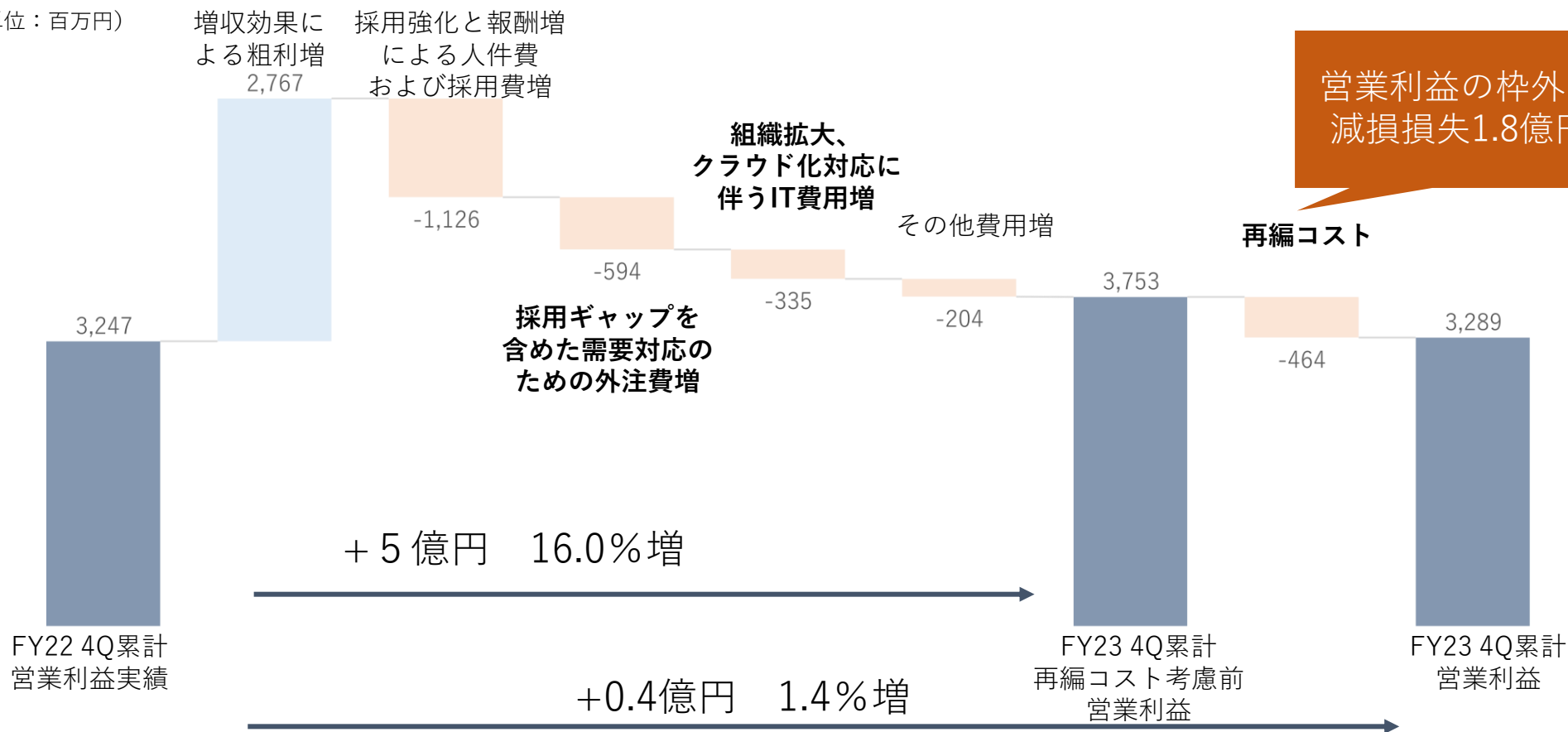
(単位：百万円)

	2023年6月期	前年同期比		2023年6月期	前年同期比		対業績予想	
	第4四半期	実績	増減率		累計	実績	増減率	業績予想値
売上高	5,236	4,916	6.5%	21,424	18,703	14.5%	21,800	-1.7%
売上原価	3,173	2,686	18.1%	12,028	9,782	23.0%	—	—
売上総利益	2,063	2,230	-7.5%	9,395	8,921	5.3%	—	—
売上総利益率	39.4%	45.4%	-6.0pt	43.9%	47.7%	-3.8pt	—	—
販管費	1,695	1,606	5.5%	6,106	5,674	7.6%	—	—
営業利益	368	624	-41.0%	3,289	3,247	1.3%	3,100	6.1%
営業利益率	7.0%	12.7%	-5.7pt	15.4%	17.4%	-2.0pt	14.2%	1.1pt
純利益	223	472	-52.8%	2,094	2,045	2.4%	2,030	3.2%
純利益率	4.3%	9.6%	-5.4pt	9.8%	10.9%	-1.2pt	9.3%	0.5pt
EBITDA	492	711	-30.8%	3,737	3,582	4.3%	—	—
EBITDAマージン	9.4%	14.5%	-5.1pt	17.4%	19.2%	-1.7pt	—	—

# 2023年6月期累計 営業利益の増減（対前年比較）

- 増収効果で増益となっており、採用関連費、外注費、IT費用の増加はあるものの、再編コスト考慮前の営業利益の増加率は、売上高の増加率を上回る
- 再編コストが通期で、原価および販管費で4.6億円、減損損失1.8億円の影響があり、営業利益および純利益は微増に留まった

（単位：百万円）



# 事業セグメント別業績

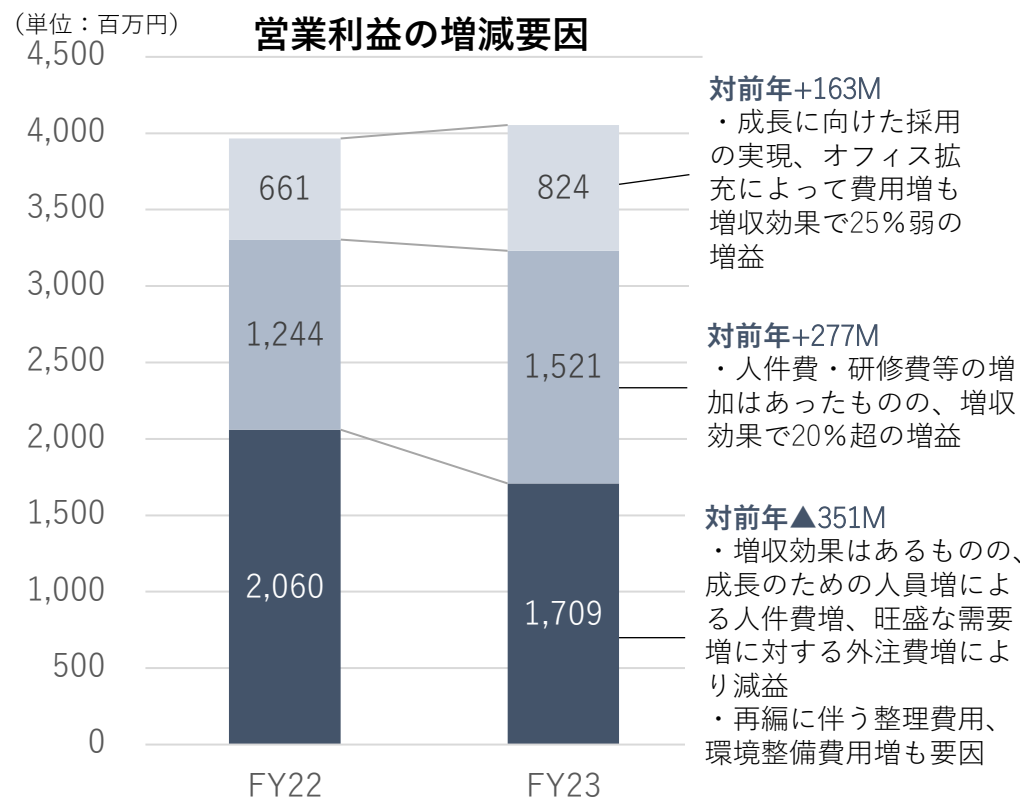
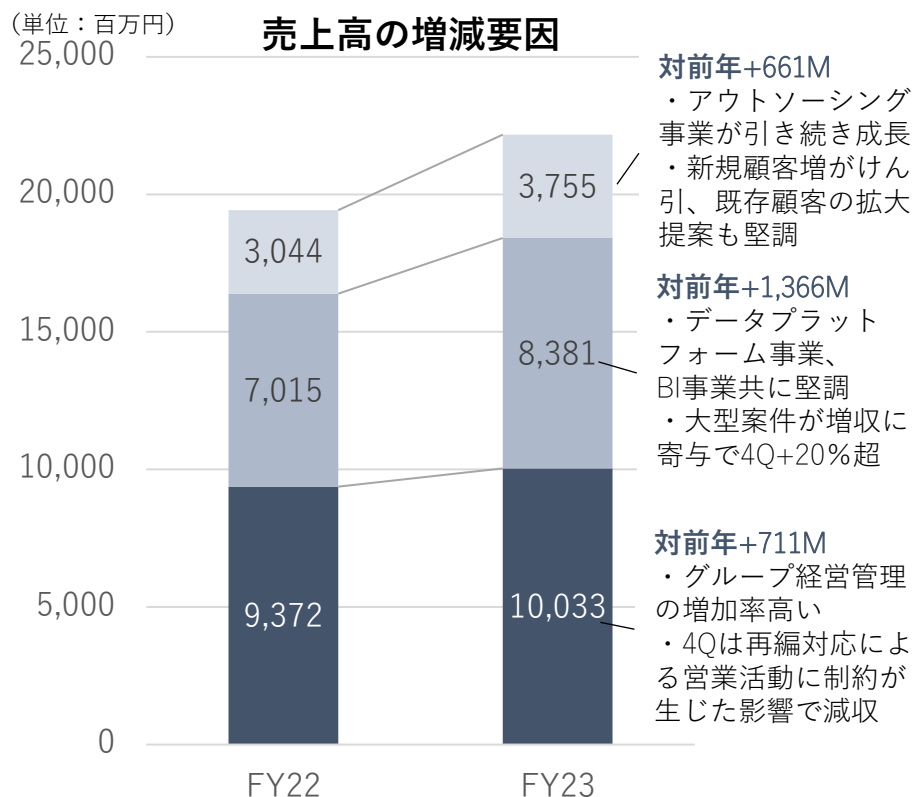
- DX事業とアウトソーシング事業は+20%前後の増収を通期で達成、増収効果による増益で全体の業績をけん引
- グループガバナンス事業は、第4四半期のみでは対前年同期比で減収減益、通期では増収を達成したものの減益となった

(単位：百万円)

		2023年6月期 第4四半期	前年同期比		2023年6月期 累計	前年同期比	
			実績	増減率		実績	増減率
グループガバナンス	売上高	2,208	2,566	-14.0%	10,033	9,372	7.0%
	営業利益	192	507	-62.1%	1,709	2,060	-17.0%
	営業利益率	8.7%	19.8%	-11.1pt	17.0%	22.0%	-4.9pt
	受注額	3,084	3,340	-7.7%	10,301	10,155	1.4%
	受注残	3,400	3,132	8.6%	3,400	3,132	8.6%
デジタルトランス フォーメーション 推進	売上高	2,207	1,741	26.8%	8,381	7,015	19.5%
	営業利益	280	263	6.5%	1,521	1,244	22.3%
	営業利益率	12.7%	15.1%	-2.4pt	18.1%	17.7%	0.4pt
	受注額	2,662	2,063	29.0%	9,060	6,902	31.3%
	受注残	1,810	1,131	60.0%	1,810	1,131	60.0%
アウトソーシング	売上高	982	791	24.1%	3,755	3,044	23.4%
	営業利益	195	82	137.8%	824	661	24.7%
	営業利益率	19.9%	10.5%	9.4pt	21.9%	21.7%	0.2pt
	受注額	1,548	1,240	24.8%	4,039	3,751	7.7%
	受注残	2,448	2,164	13.1%	2,448	2,164	13.1%

# 事業セグメント別業績（要因）

- 売上高は各セグメントともに増収を達成。グループガバナンスは組織再編に伴い営業活動に制約が生じたことにより4Qは減収、結果、通期の増収幅も限定的
- グループガバナンスは人件費・外注費の増加に加え、再編を契機とした製品整理・環境整備によるコスト増により減益したものの、DX事業及びアウトソーシング事業はコスト増を上回る増収により増益



■ グループ・ガバナンス ■ デジタルトランスフォーメーション推進 ■ アウトソーシング



# グループコスト構造

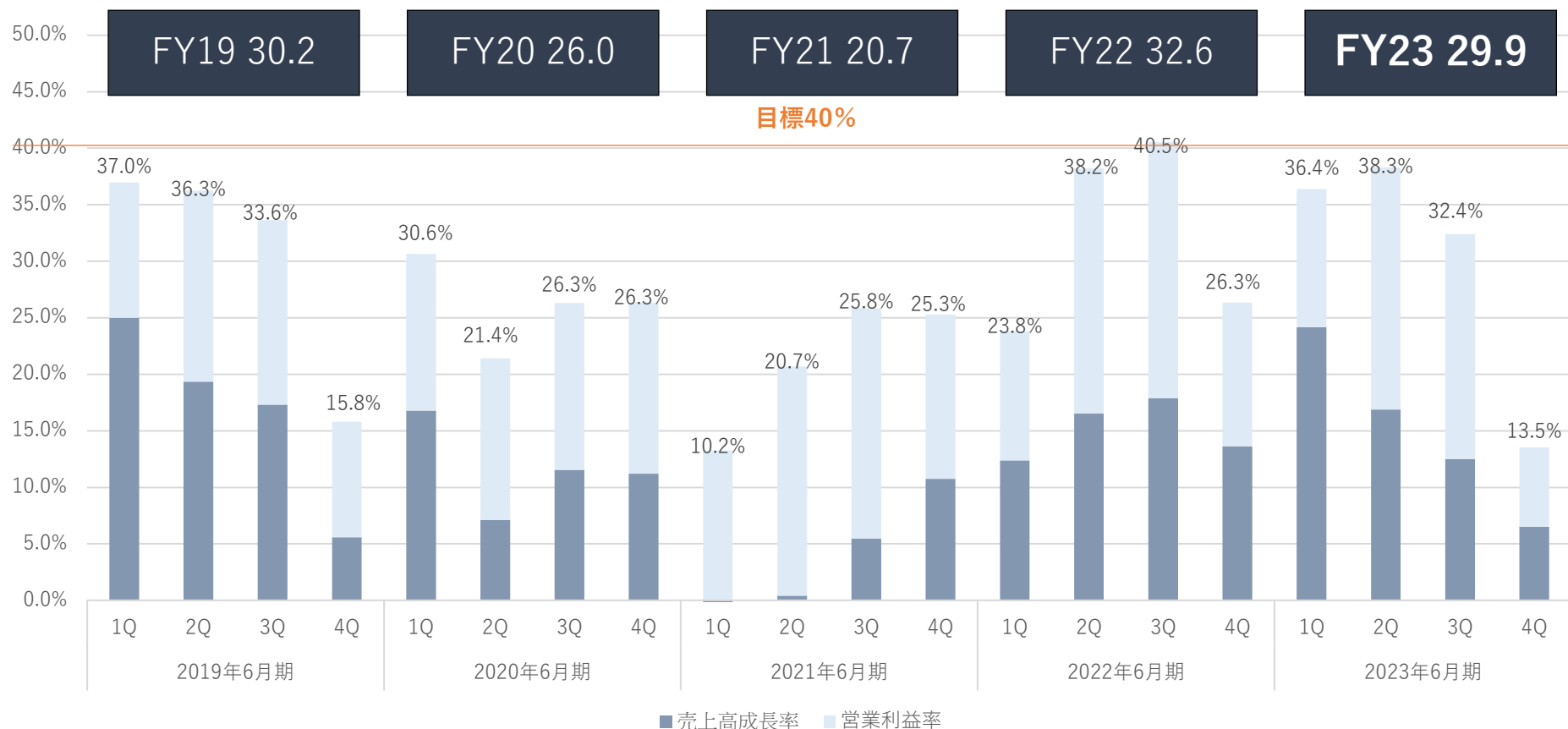
- 売上成長のため、活発な採用活動により採用費は増加しているが、社員だけでは需要とのギャップがあるため外注費が増加
- IT費用は人員増とクラウド化対応（顧客向け、社内環境）により増加

(単位：百万円)

	2023年6月期 第4四半期	前年同期比		2023年6月期 累計	前年同期比	
		実績	増減率		実績	増減率
売上高	5,236	4,916	6.5%	21,424	18,703	14.5%
人件費	2,766	2,398	15.3%	10,277	9,140	12.4%
採用費	134	130	3.1%	433	353	22.7%
外注費	984	890	10.6%	3,778	2,910	29.8%
IT費用	313	185	69.2%	994	658	51.1%
事務所費用	216	206	4.9%	905	895	1.1%
その他	455	483	-5.8%	1,748	1,500	16.5%
総費用	4,868	4,292	13.4%	18,135	15,456	17.3%
営業利益	368	624	-41.0%	3,289	3,247	1.3%
営業利益率	7.0%	12.7%	-5.7pt	15.4%	17.4%	-2.0pt

# 四半期推移 GPP（売上高成長率＋営業利益率）

- 今期は目標であるGPP40に近い水準で推移して来たが、売上高成長率の減少および利益率の悪化により通期ではGPP29.9で着地
- 過去5年においても中位の結果となった

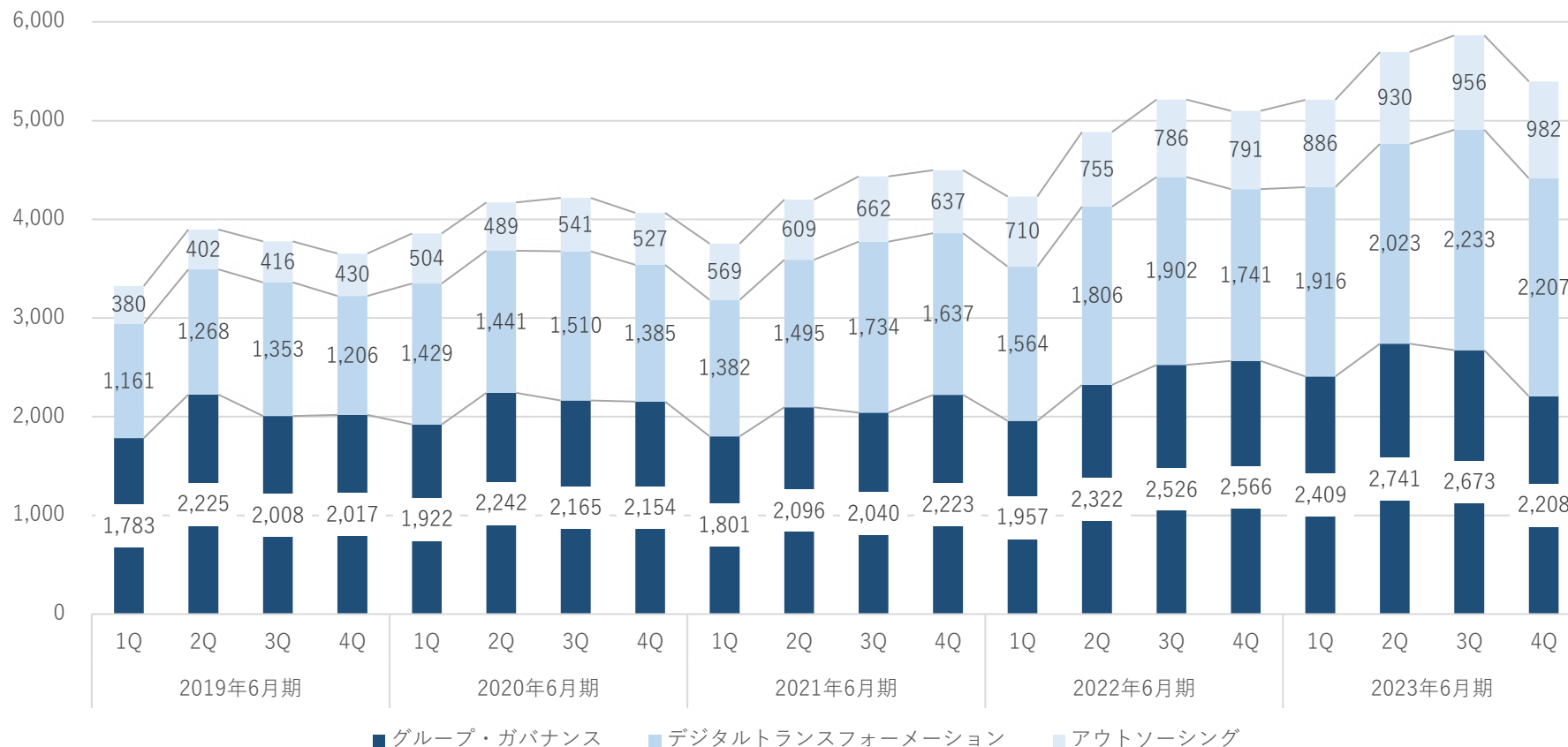


2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しています。

# 四半期推移 セグメント別売上高

- 第4四半期においては、これまでのトレンド通り、対第3四半期では減少しているものの対前年同期比では全体で増収を達成

(単位：百万円)

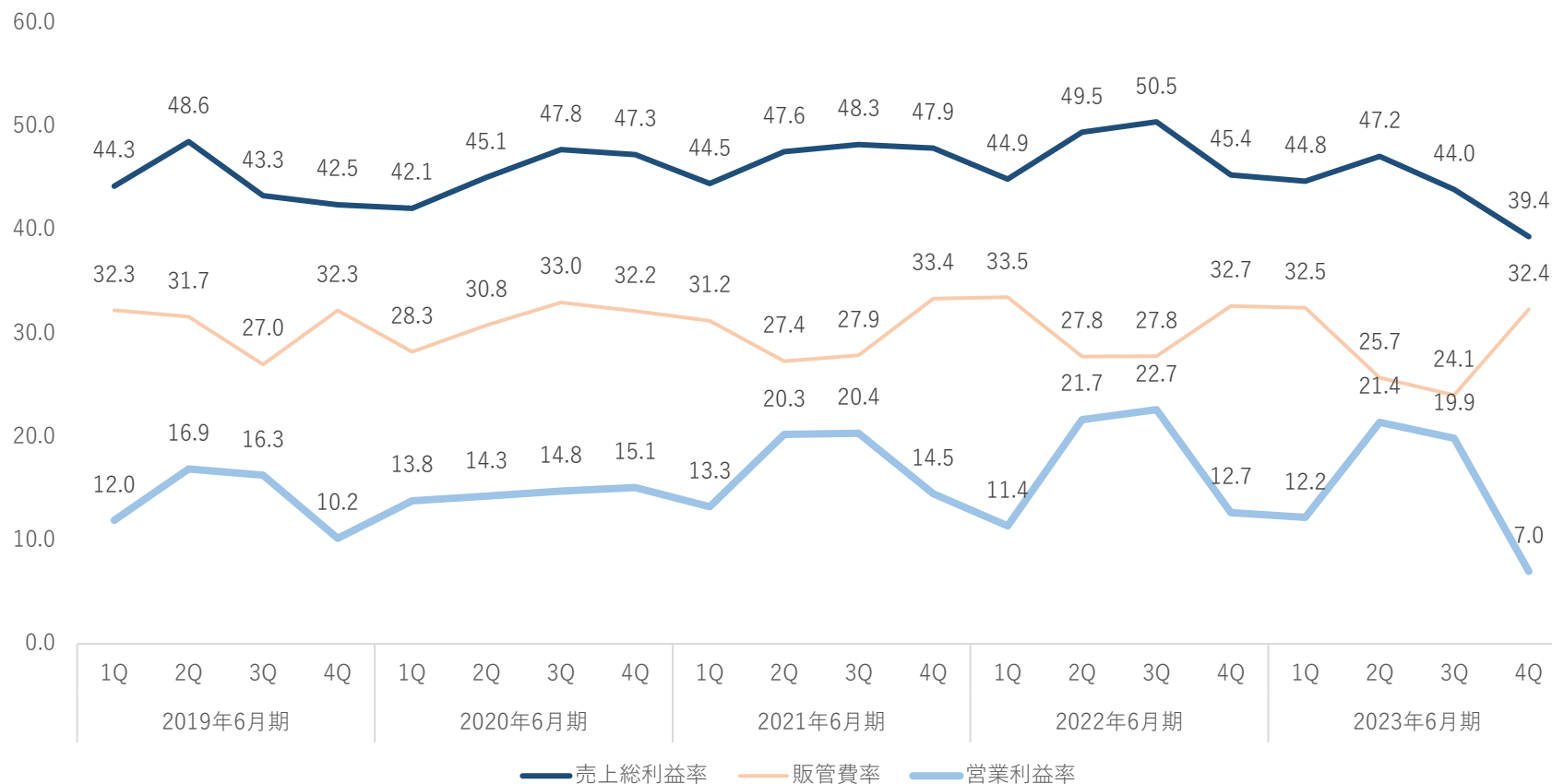


2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しています。

# 四半期推移 利益率

- 成長のための人員増および再編コストにより売上総利益率は低下傾向。販管費率は過去5年で徐々に低減してきているが、第4四半期においては、新卒採用を中心とした採用費の増加のため一時的に上昇。その影響で四半期での営業利益率は一時的に低下

(単位：%)

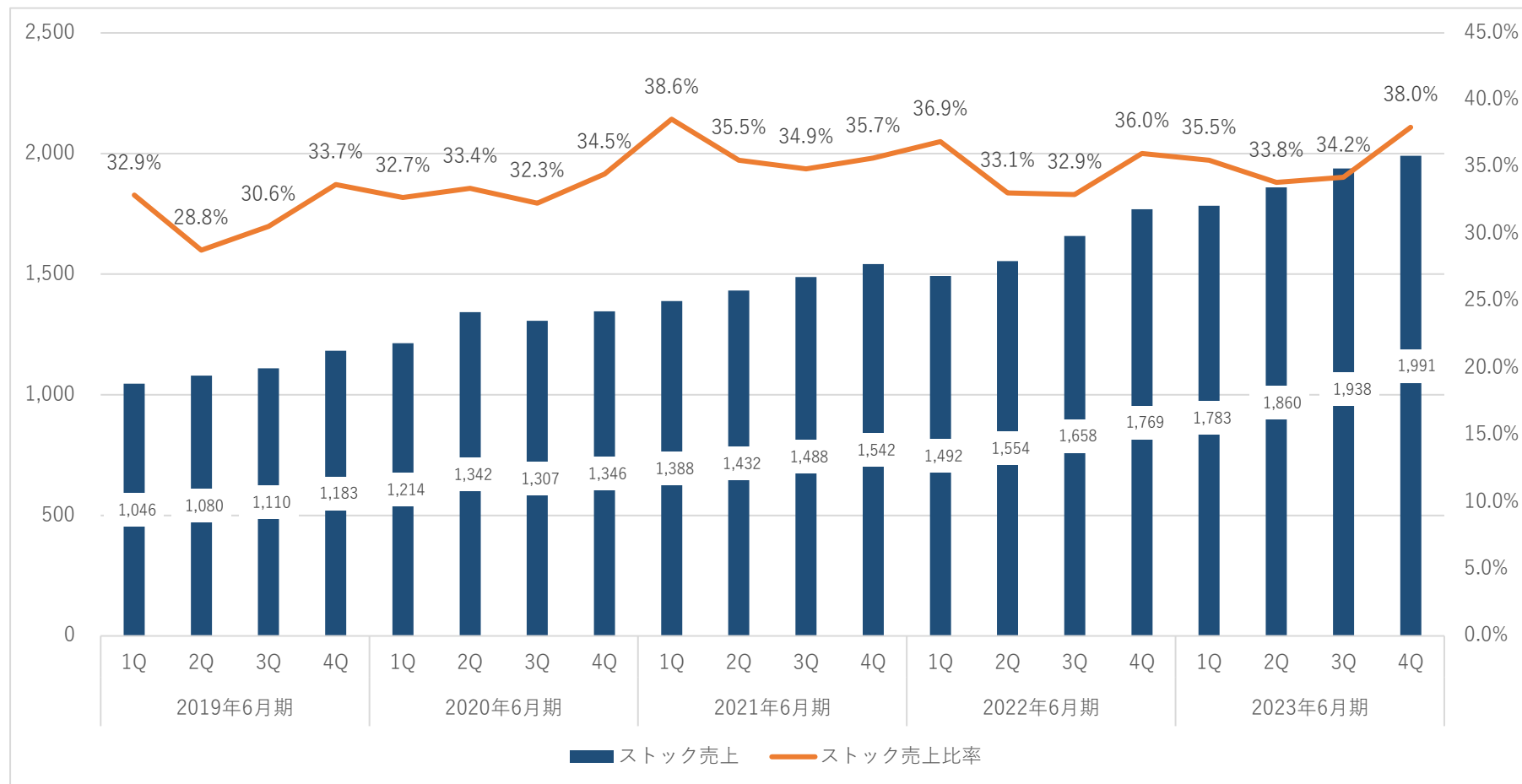


2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

# 四半期推移 ストック売上高・ストック比率

- サービス売上高の多寡により、比率は上下するものの、ストック売上高の絶対値については7四半期連続で堅調に増加

(単位：百万円)

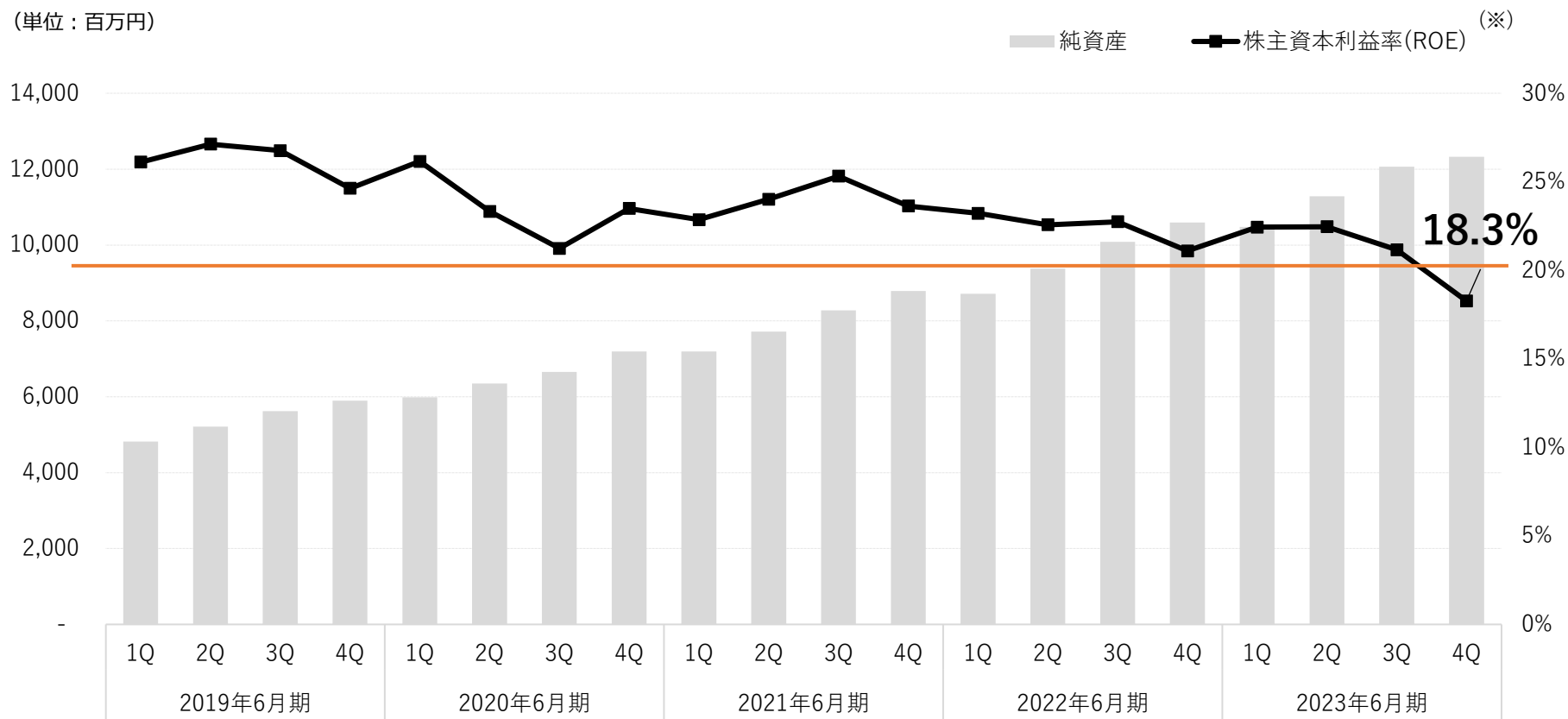


2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

# ROEの推移

- 2023年6月期においては、減損損失と再編コストの影響により、目標ラインの20%を下回っているものの、来期以降は、回復の見込み
- 当社グループの経営原則を遵守し、収益性をさらに高め、かつ、資産をより効率的に運用することを通じて、平均20%以上の維持を目指す

(単位：百万円)

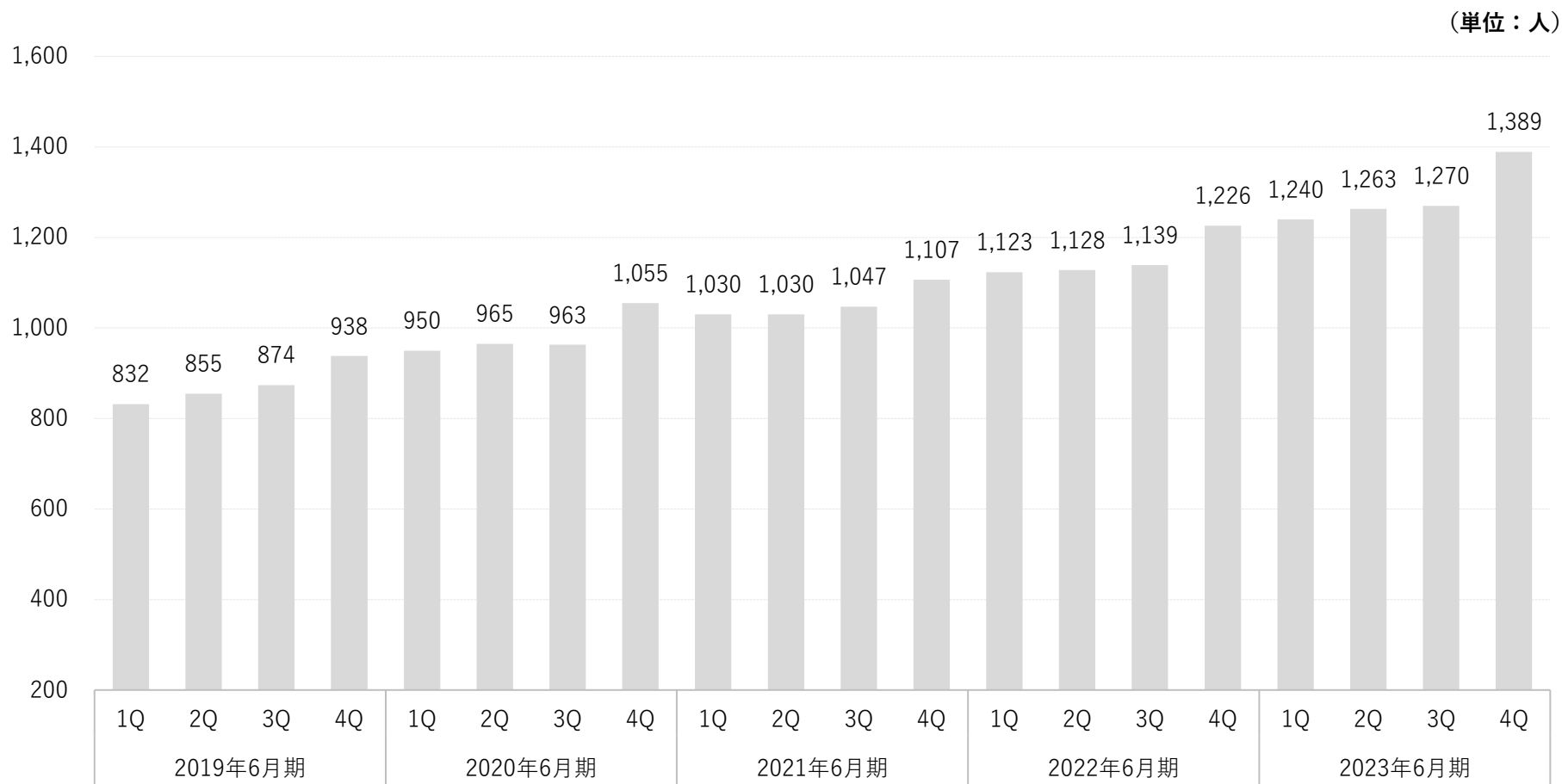


※過去4四半期分の数値を基に計算しています。

2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

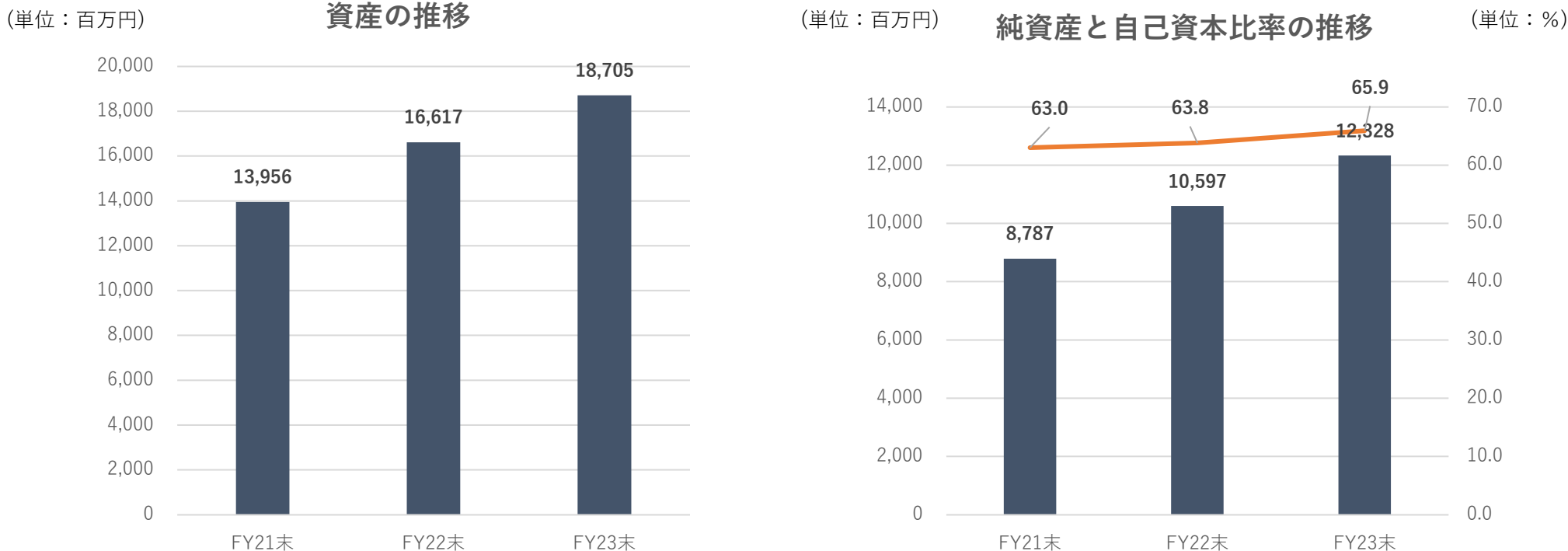
# グループ従業員数の推移

- 持続的な成長を実現するため、人員数は増加傾向
- 新卒採用に加え、中途採用も順調に推移しており、四半期で119名増



# 財務状況の推移

- 売上高の成長と利益体質により、順調に資産および純資産が積み上げされている
- 一方で、借入等に頼らず営業活動から得られるキャッシュフローでの運営ができており、負債比率は低下してきているため、自己資本比率は配当金を年々増配させているものの引き続き上昇傾向にある



2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。



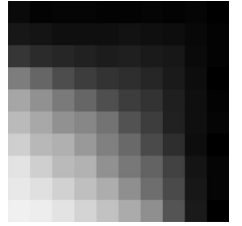
# キャッシュフローの状況

- 第4四半期において、これまでの契約の完了による売掛金の入金（売掛金の減少）と新規契約の前受入金（契約債務の増加）により、営業CFが大幅にプラスになり、第3四半期までの累計マイナスを大きくプラスにした
- メタプラクシス社からのソースコード買取、オフィスの増床(有形固定資産の取得や差入れ保証金の増)もあり、投資CFの投資額も年間で増加も現金は増加

(単位：百万円)

	2023年6月期 第4四半期	前年同期比		2023年6月期 累計	前年同期比	
		実績	増減額		実績	増減額
営業CF	2,269	1,642	626	2,175	3,026	△ 851
投資CF	△ 121	△ 85	△ 36	△ 795	△ 398	△ 396
フリーCF	2,147	1,557	590	1,379	2,627	△ 1,247
財務CF	△ 4	△ 4	0	△ 507	△ 433	△ 73

2022年第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しています。



## II.業績予想 および 配当予想

# 2024年6月期 通期業績予想

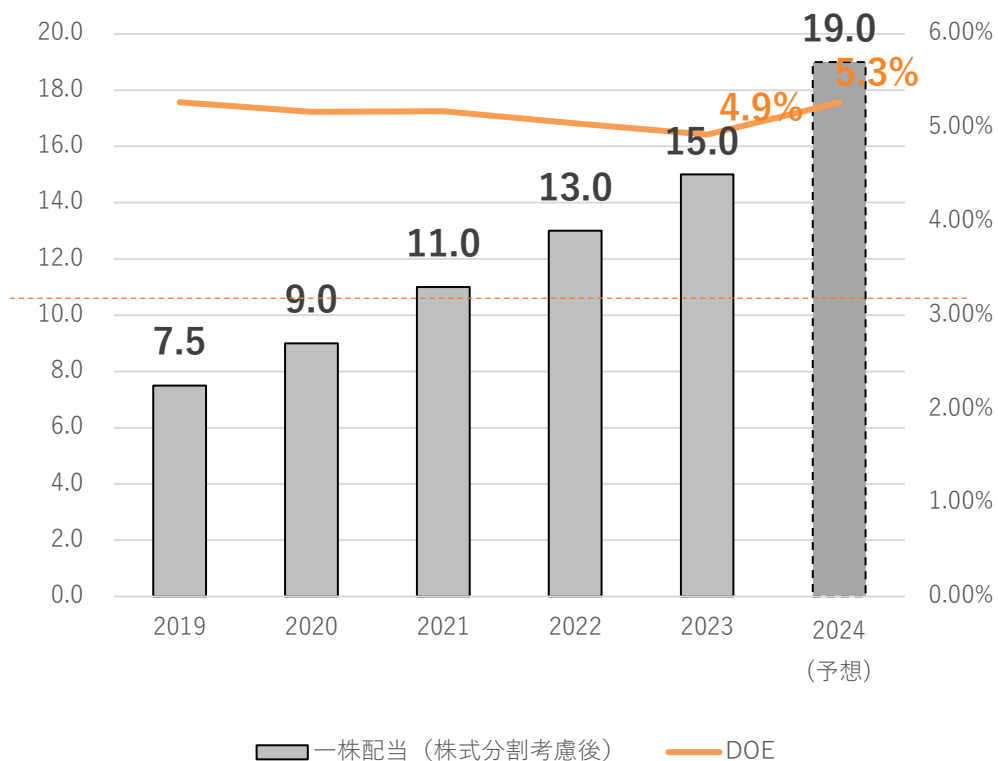
- 2023年6月期は、業績予想数値とほぼ同水準の数値で着地し、増収増益を達成
- 2024年6月期についても、売上高は対前年比12%増の24,000百万円と増収を見込む。営業利益および当期純利益については、増収効果に加え、2023年6月期で発生していた再編コスト負担が軽減するため、増収率以上の増益率を見込む

(百万円)

	2023年6月期 (実績)	2024年6月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	21,424	24,000	2,576	12.0%
営業利益	3,289	3,850	561	17.1%
営業利益率	15.4%	16.0%	-	-
当期純利益	2,094	2,500	406	19.4%

# 株主還元

- 2023年6月期のDOEは4.9%で、東証上場企業平均（12ヶ月）の3.1%を大幅に上回る水準を達成見込み
- 2024年6月期は、さらに一株配当額を大きく増額し、DOEは5.3%を見込む



## <株主還元の考え方>

- 配当は株主還元政策の重要事項の位置づけ
- 純資産配当率などの指標に注目することで、毎期の業績に大きく左右されることなく、配当金額を安定的に維持ないしは向上していくことを指向
- 純資産配当率は東証全上場企業の平均値を常に上回り、新中期経営計画の期間内に8%の達成を目指す

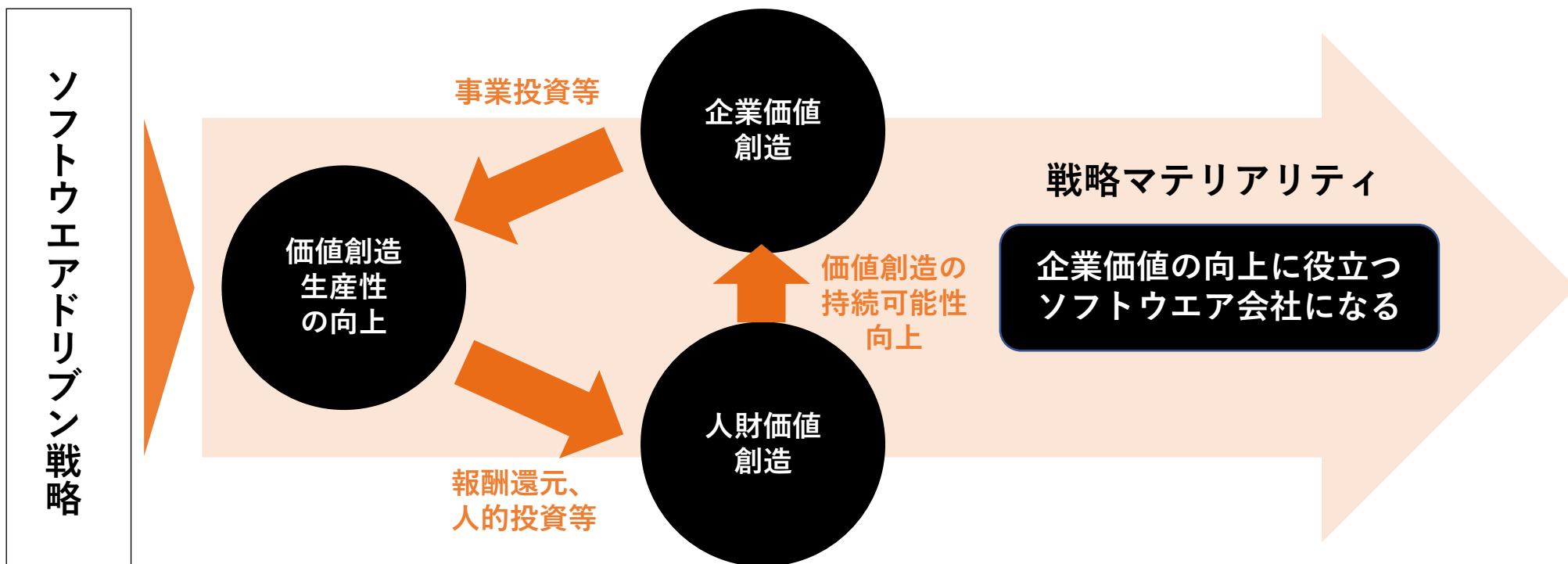
# I

## III.マテリアリティ実現に向けたアクション

(新中計「BE GLOBAL 2028」)

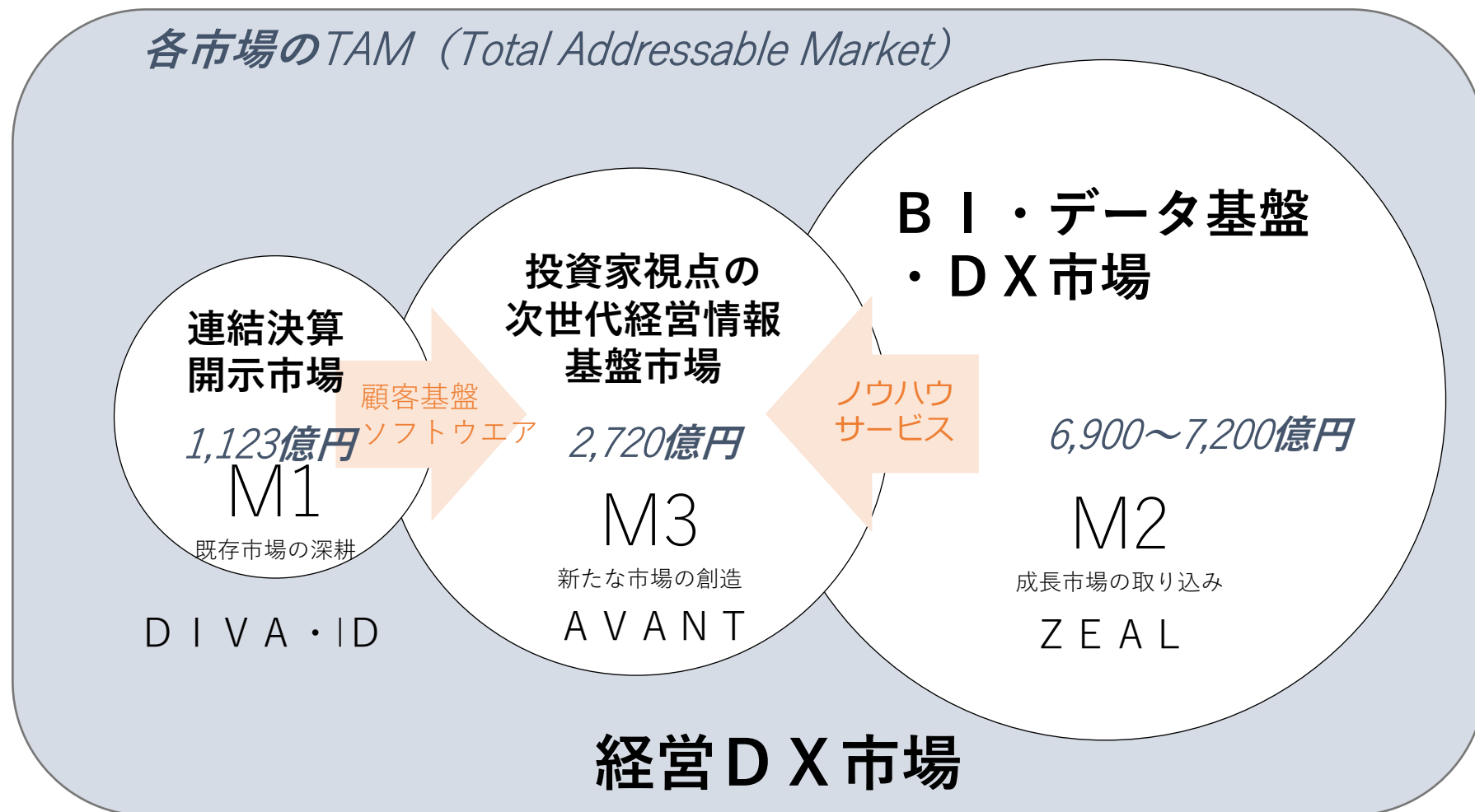
# ■ BG28(BE GLOBAL 2028)で目指す価値創造スパイラル

- ソフトウェアドリブン戦略によってもたらされる価値創造生産性（1人当たり営業利益にて計測）の向上を起点とした人財価値創造、企業価値創造につながる価値創造スパイラルにより、戦略マテリアリティ「**企業価値の向上に役立つソフトウェア会社になる**」を実現する



# BG28で注力する市場

- 企業価値の向上がシリアスな課題となっている企業向けの経営DX市場にポジショニングする

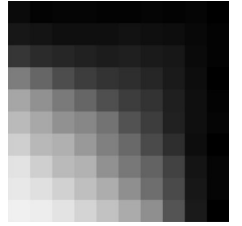


# BG28のアウトロック

- B2Bソフトウェア成長企業として純利益成長率 CAGR25%以上を基準とし、売上高2倍に対して純利益3倍の、価値創造生産性の向上を伴う事業成長を行う

	FY23	FY24	FY28	5年変化/平均
売上高	214億円	240億円	400~450億円	2x
営業利益	32.8億円	38.5億円	90~110億円	3x
営業利益率	15.4%	16.0%	20~24%	+5~9pts
純利益	20.9億円	25.0億円	60~70億円	3x/CAGR 25%
1人当たり営業利益	2.4百万円	2.4百万円	3.5~4.3百万円	1.5x
ソフトウェア粗利益	21.3億円	21.7億円	60~65億円	3.0x
ROE	18.3%	19.3%	20%以上	AVG 20%
DOE	4.9%	5.3%	8%以上	AVG 7%
配当	15円	19円	51円以上	3.4x

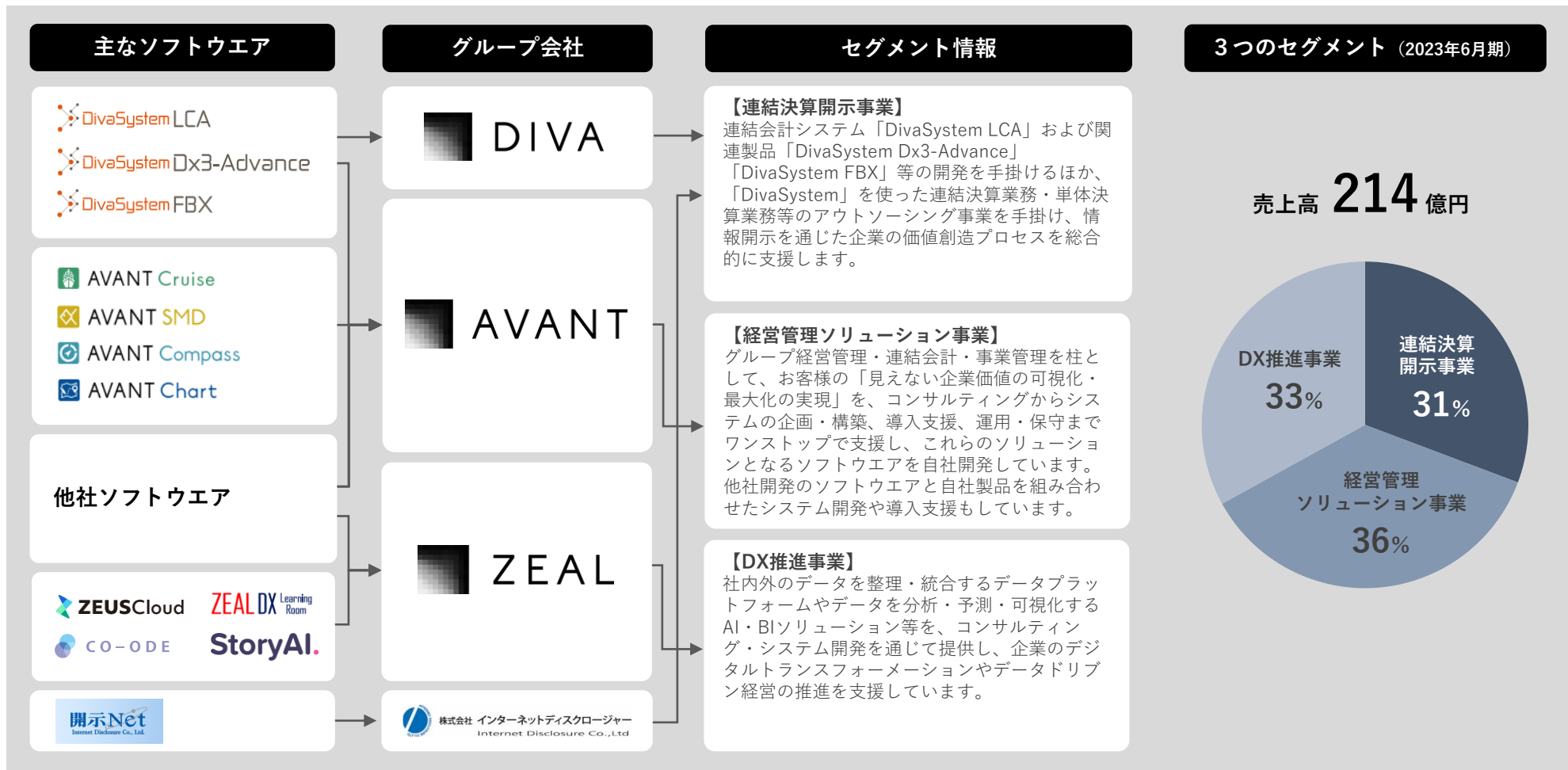




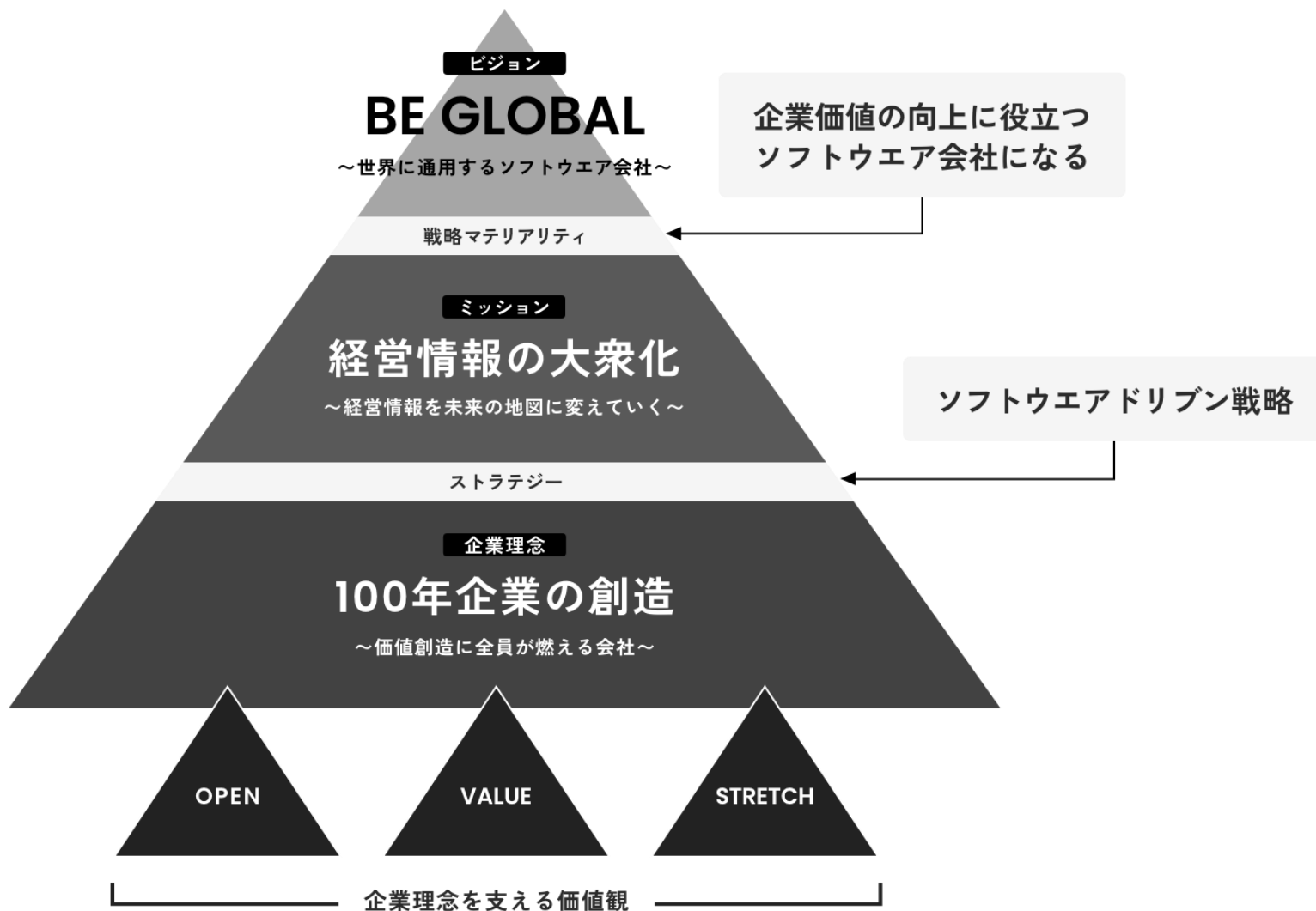
## 参考資料：会社概要

# 会社紹介 アバントグループについて

会社名 : 株式会社アバントグループ (持株会社)  
 創業 : 1997年5月26日  
 代表 : 代表取締役社長 グループCEO 森川 徹治  
 時価総額 : 約550億円 (東証プライム、証券コード3836)



# アバントグループの理念体系



# アバントグループはBE GLOBAL実現に向けた次の5年へ

連結会計事業「国内トップシェア」を確立

持株会社制／グループ経営の拡大

BE GLOBAL

政府主導  
イニシアティブ

■連結会計制度  
(2000年3月期～)

■四半期開示義務化  
(2003年4月～)

■内部統制報告制度 (J-SOX)導入  
(2008年4月～)

■IFRS任意適用  
(2010年3月期～)

■コーポレート  
ガバナンス・コード  
(2015年6月～)

■グループ・ガバナンス  
実務指針  
(2019年9月～)

■事業再編実務指針  
(2020年7月～)

■公正な買収の在り方に関する研究会  
(2022年～)

2004年1月  
■連結決算業務の  
アウトソーシング・  
サービスを開始

2007年8月  
■DivaSystem利用社数  
500社達成

2018年12月  
■DivaSystem利用社数  
1,000社達成

2023年8月  
■新中期経営計画  
「BE GLOBAL 2028」発表

1997

2004

2007

2009

2012

2013

2017

2018

2019

2022

2023

1997年5月  
株式会社ディーバを設立

2007年2月  
大証ヘラクレス  
(現東証グロース市場) 上場

2009年11月  
■株式会社インターネットディスクロージャーの全株式を取得

2012年10月  
■株式会社ジールが株式会社DHIより  
情報システム事業を承継

2013年10月  
■株式会社アバントに商号変更  
■持株会社制に移行

2017年8月  
■株式会社フィエルテを設立

2018年3月  
東証1部  
(現東証  
プライム市場)へ  
指定替え

2022年10月

事業再編

■ AVANT GROUP

■ AVANT

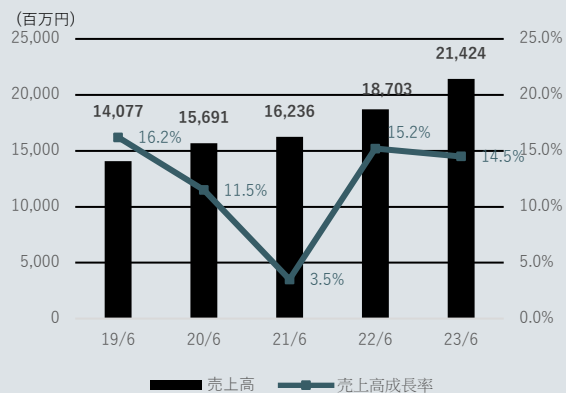
株式会社 インターネットディスクロージャー  
Internet Disclosure Co., Ltd.

■ ZEAL

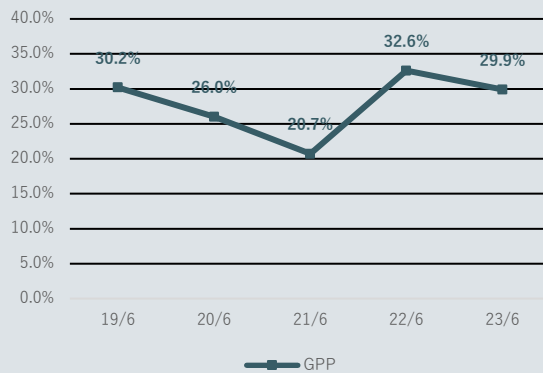
■ DIVA

# 数値で見るアバントグループ

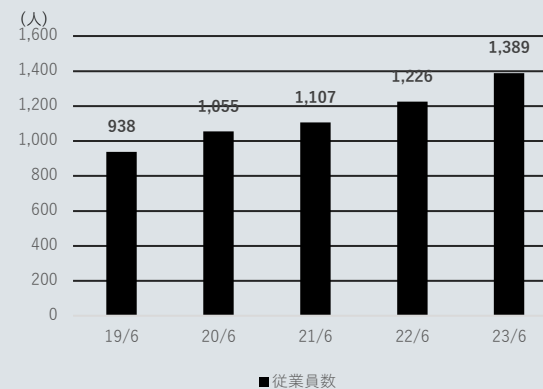
## 売上高／売上高成長率



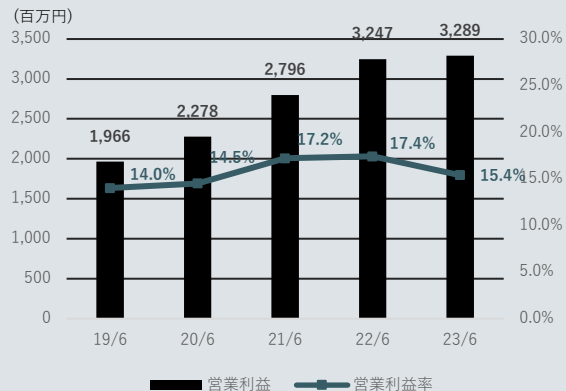
## GPP (売上高成長率 + 営業利益率)



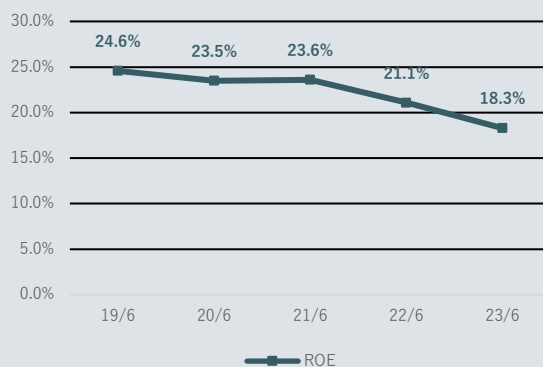
## 従業員数



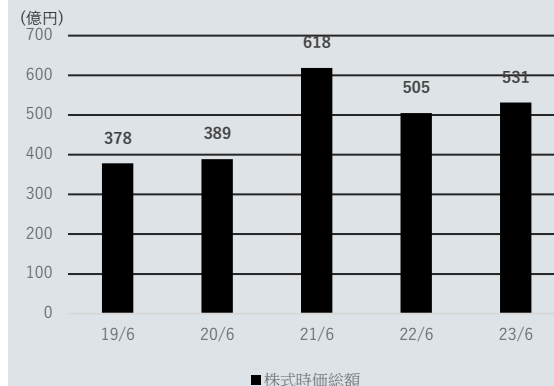
## 営業利益／営業利益率



## ROE

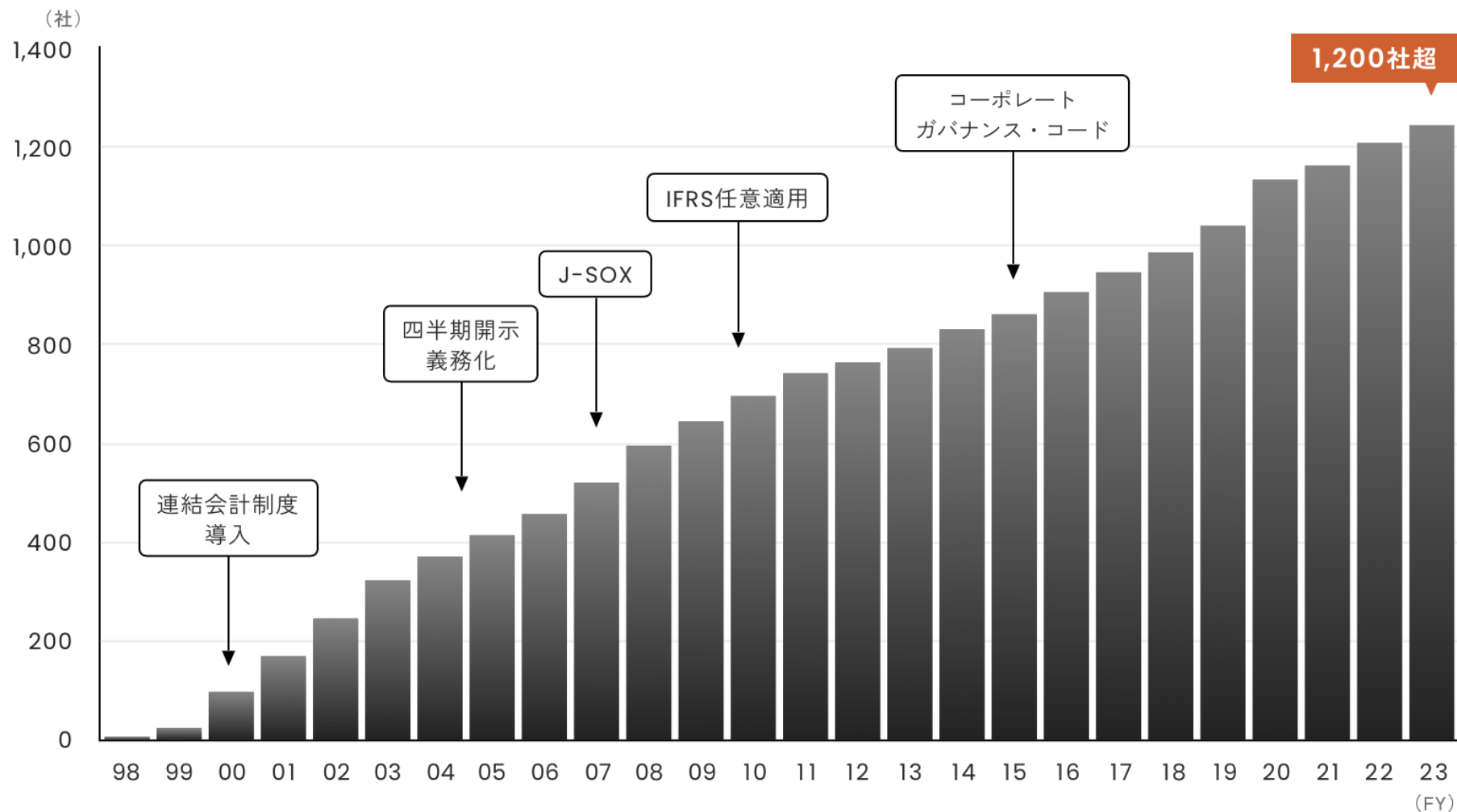


## 株式時価総額



# アバントグループ ソフトウェア製品導入企業の推移

ディスクロージャー規制強化に伴い、連結会計システムLCAが導入数をけん引



# 連結会計システムLCAの顧客基盤（時価総額別シェア）

- 販売実績は1,200社以上※1
- 2023年度連結会計ソフトウェア市場シェアは43.5%※2
- 制度会計から予算・管理会計等、企業のガバナンス強化をサポート



トヨタ自動車株式会社  
東京エレクトロン株式会社  
KDDI株式会社  
日本電信電話株式会社  
ダイキン工業株式会社  
株式会社デンソー  
株式会社日立製作所  
中外製薬株式会社  
株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
株式会社みずほフィナンシャルグループ  
富士フイルムホールディングス株式会社  
アステラス製薬株式会社  
日本たばこ産業株式会社  
株式会社ブリヂストン  
ユニ・チャーム株式会社  
(2023年6月末時価総額順)

※1 2023年6月末時点

※2 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」連結会計管理ソフト 市場占有率推移<パッケージ>

## 企業価値向上につながる連結決算開示を

ご提供形態		製品・サービス内容					
製品	連結決算・開示				取締役会運営	グローバル 資金管理	
	収集	処理	意思決定	監査			
	グループ子会社仕訳明細データ収集 <b>DivaSystem Dx3-Advance</b> オンプレミス		連結会計・連結決算システム <b>DivaSystem LCA</b> オンプレミス クラウド マネージドサービス		Coming Soon	Coming Soon	トレジャリー マネジメント システム <b>TMS</b> クラウド
サービス	BPO	決算業務アウトソーシング					
	コンサルティング	会計コンサルティングサービス					グローバル 資金管理 高度化 支援サービス
		非財務情報・予算管理データ収集 <b>DivaSystem FBX</b> オンプレミス    クラウド					



## ジールは日本企業のデジタルトランスフォーメーションの実現に貢献

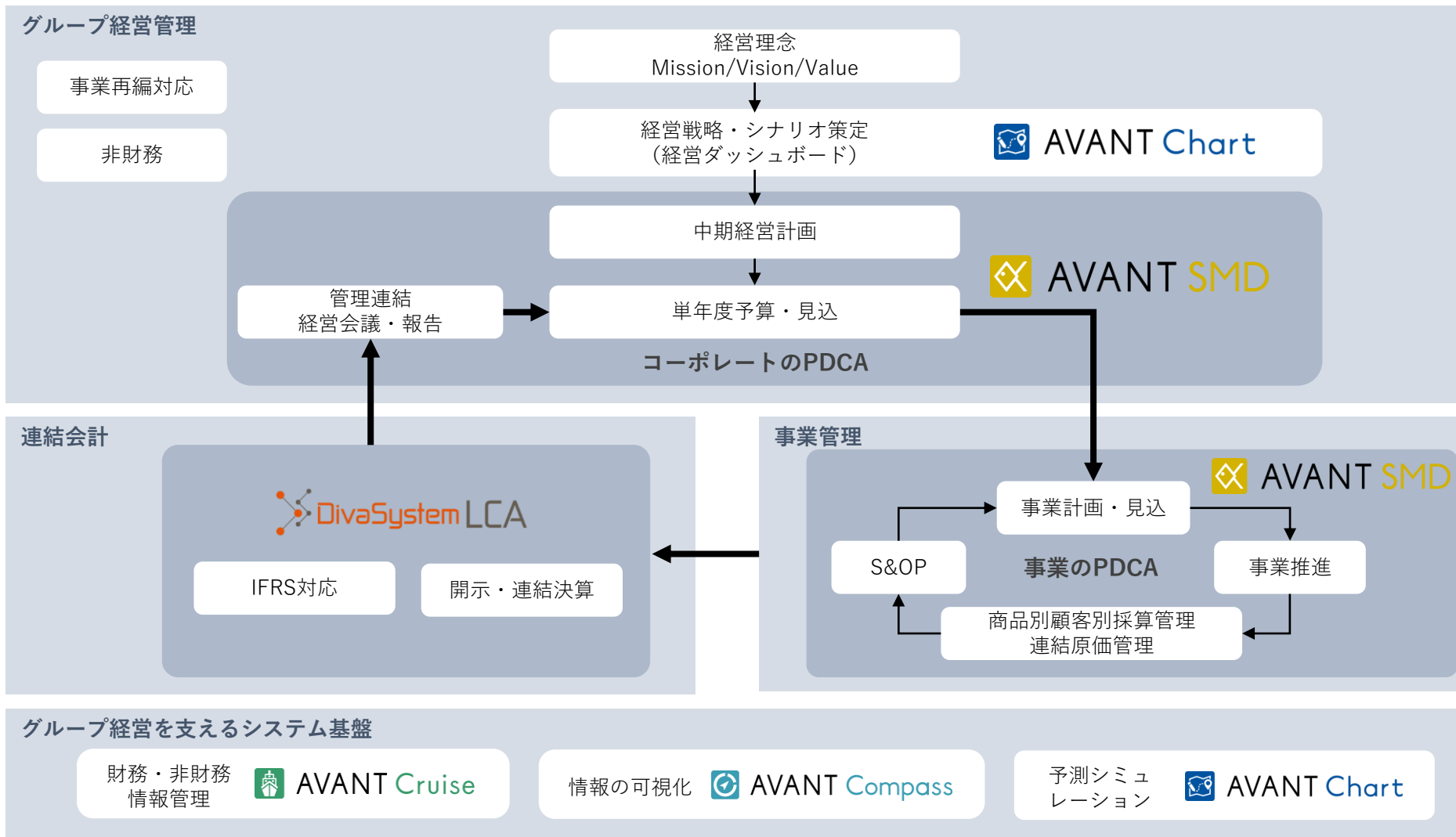


コンサルティングから構築・運用・保守サポート・教育サービスまで対応可能！

ZEAL ZEALオリジナルの製品・サービスです

# AVANT

経営管理ソリューションを駆使し、見えない企業価値の可視化・最大化の実現



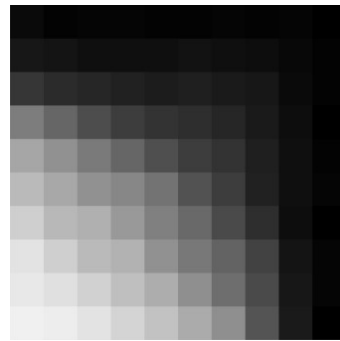
## 将来見通しに関する注意事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。

### ■お問い合わせ先

株式会社アバントグループ IR室

[ir@avantgroup.com](mailto:ir@avantgroup.com)



AVANT GROUP

SUSTAINABILITY IS VALUE